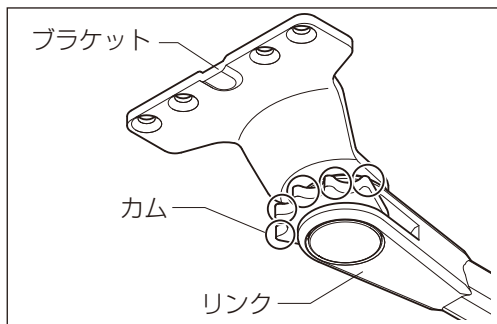




●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

- このドアクローザは、室内側に取付けます。
- 本説明書は、外観右吊元用で説明してあります。左吊元の場合も、同じ要領で取付けてください。
- ストップ機構の摺動箇所につき、カムの一部（右図○印部）に塗膜の削れる箇所が発生しますが、性能に影響はありません。また、製造工程内で作動検査を行っているため、お届け時に発生している場合もございますが、問題なくご使用いただけます。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。



■部品一覧表

本 体	アーム	本体ブラケット
ブラケットリンク	キャップ	アーム止めねじ
		(2本)

※アーム形状が異なる場合もあります。

⚠ 注 意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注 意

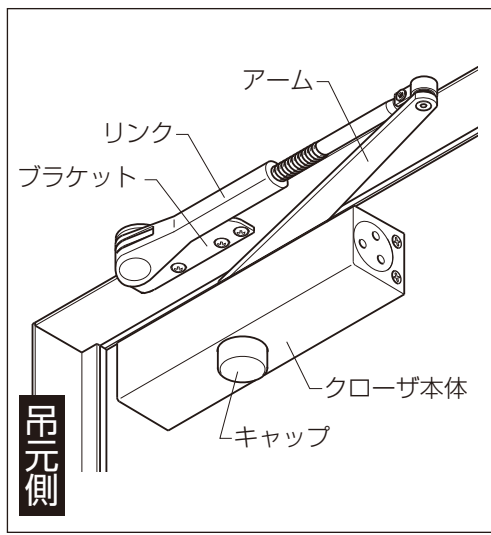
- ドアクローザの落下・故障の原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・各種取付けねじは、3.0N・m以上のトルクで必ず締付けてください。インパクトドライバーなどトルク調節が出来ないドライバーは使用しないでください。
 - ・各種取付けねじは、付属のねじを所定個所に使用してください。
 - ・固着剤付きのねじは、2度締めしたり、水に触れたものは使用しないでください。
- 各速度調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。ねじをゆるめすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬケガをするおそれがあります。

■ねじ一覧表

記 号	①※	or	②※	③	④
姿 図		or			
入数	各4			4	2

※①と②は商品によって使い分けます。

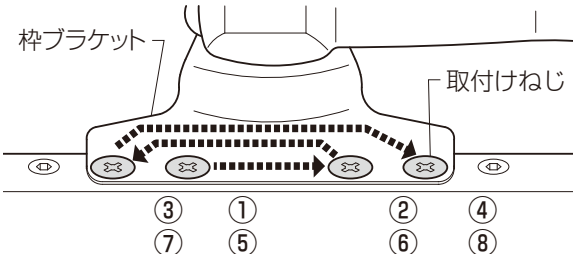
■各部名称



■取付け順序

- お願い
- ※ブラケットの固定は下図の手順でねじを締付けてください。
 - 1.①～④の順序でねじを固定する
 - 2.⑤～⑧の順序で増し締めを行う
 - 3.最後にねじの緩み、ブラケットの浮きがないかを確認する

枠ブラケット取付け

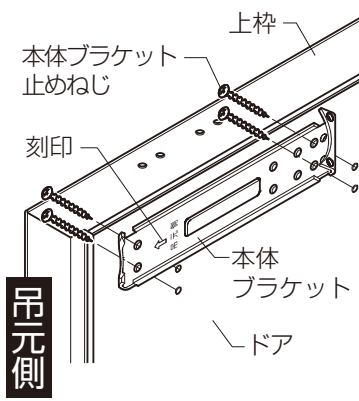


1 本体ブラケットの取付け

- 本体ブラケットの刻印（<）を吊元側に向け、ドアに取付けます。

■本体ブラケット止めねじ

- ※フラッシュドアに使用
⑦丸皿タッピンねじφ5×25
- ※形材ドアに使用
⑧丸皿小ねじM5×12（固着剤付き）

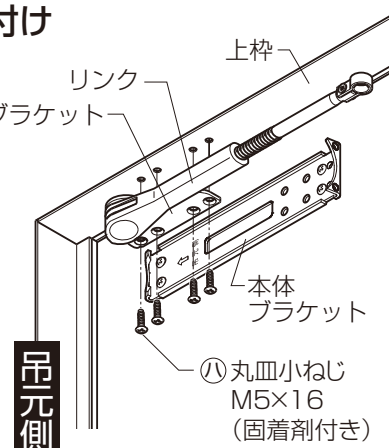


2 ブラケットの取付け

- ブラケットを上枠に取付けます。

■ブラケット止めねじ

- 固着剤
- ⑨丸皿小ねじM5×16（固着剤付き）

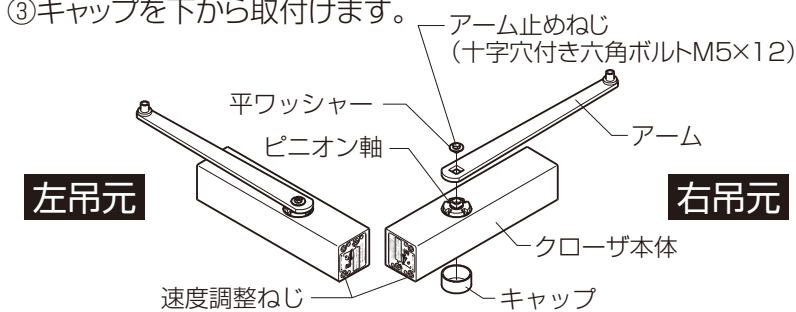


⚠ 注 意

- ブラケット止めねじは必ず締付けてください。ブラケット止めねじの締付けがゆるいと、ブラケットリンクがぐらつき落下・故障の原因になります。

3 アームの取付け

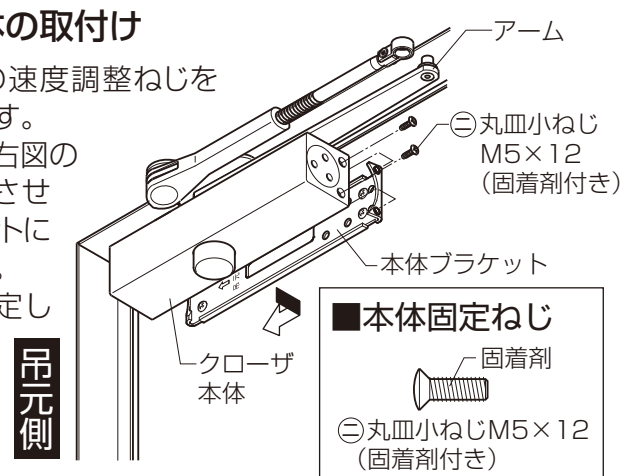
- ①クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。
- ②ピニオン軸にアームを下図の向きではめ、アーム止めねじをドライバーまたは8mmスパナを使用して締付けます。
- ③キャップを下から取付けます。



- お願い
- ※アームはめ込み時、ハンマーなどでたたかないでください。たたくと破損や油もれの原因になります。
 - ※取付けねじの締付けがゆるいと、アームが外れ故障の原因になります。

4 クローザ本体の取付け

- ①クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。
- ②クローザ本体を右図のようにスライドさせて、本体ブラケットにはめ合わせます。
- ③戸先側から固定します。



■本体固定ねじ

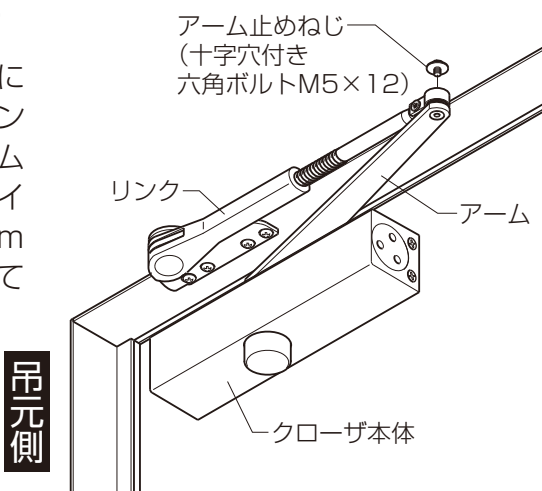
- 固着剤
- ⑩丸皿小ねじM5×12（固着剤付き）

⚠ 注 意

- 本体固定ねじは必ず締付けてください。本体固定ねじの締付けがゆるいと、本体がぐらつき落下・故障の原因になります。

5 アームの連結

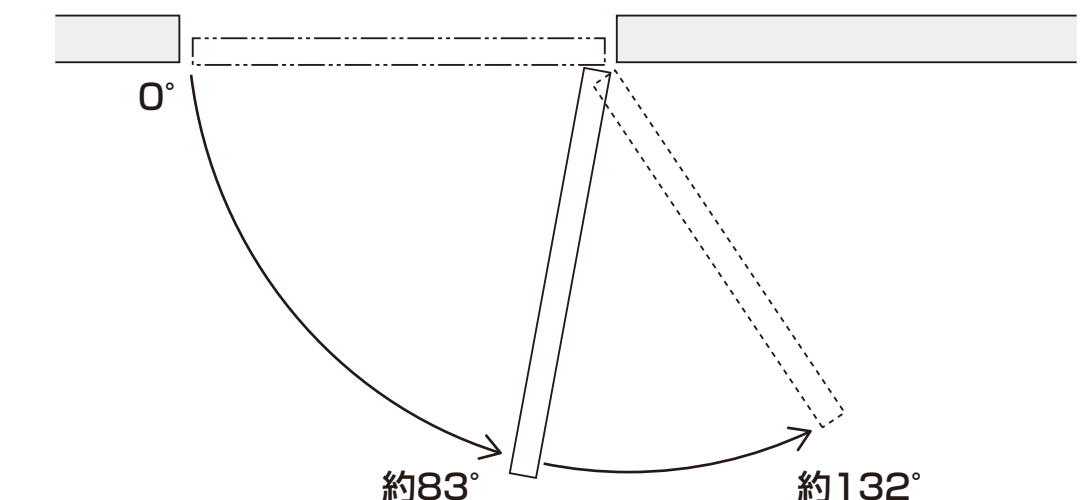
- リンク先端の穴にアーム先端のピンを差し込み、アーム止めねじをドライバーまたは8mmスパナを使用して締付けます。



- お願い
- ※アーム止めねじは必ず締付けてください。アーム止めねじの締付けがゆるいと、アームの連結が外れ故障の原因になります。

■ストップ位置の調整

ストップ角度が約83°と約132°の2ヶ所にあらかじめ固定されています。それ以外の角度の設定はできません。
※商品により角度は若干異なります。



■ドア（扉）閉じ速度の調整

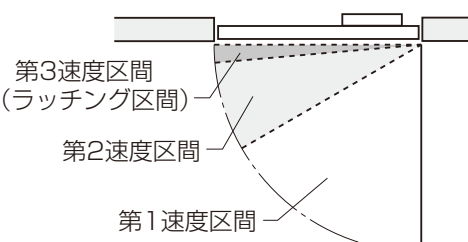
1 閉じ速度の調整

- ①閉じ速度は、第1速度区間および第2速度区間、それぞれ個別の調整ねじで行います。
- ②速度調整ねじを左右いずれかに回転させます。適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで5～8秒位です。

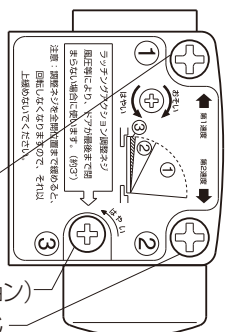
- お願い
- ※調整ねじは、遅くなる方から早くなる方へ調整してください。
 - ※調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。油もれを起こし、正常に機能しなくなることがあります。

2 ラッチングアクションの調整

- ※ラッチングアクションは、ドアが閉鎖位置直前（約3°）まできた時点でドアを素早く閉める機能です。風が強くドアが閉まりきらない場合などに使用します。
- 調整ねじを反時計方向に回転すると、素早くドアが閉まります。



■速度調整ねじ



⚠ 注 意

- 各速度調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。ねじをゆるめすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬケガをするおそれがあります。